



多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



4・5月開催予定の講座案内

170回

題名 南極大陸内陸域を探る

日時 平成30年4月12日(木) 14:30から約1時間

講師 渡邊 興亜氏

(国立極地研究所名誉教授、国立大学法人総合研究大学院大学名誉教授)

内容 南極大陸(面積:1400万平方km)の平均標高は2200mと、他の大陸に比べて異常に高くなっています。その理由は、本来の南極大陸(平均標高155m)の上に巨大な氷床が乗っているからです。この氷床は地球上の氷の90%を占めています。南極大陸内陸部の探査とは、この巨大氷床の存在機構の解明に他なりません。氷床の形、その質量収支、氷床が作り出す特有の気候系、氷床雪氷層に記録された過去数十万年の地球気候の記録など、観測と研究の歴史を紹介します。



171回

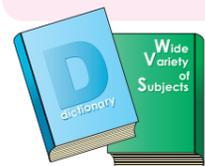
題名 ようこそ日本舞踊へ 日時 平成30年5月10日(木) 14:30から約1時間

講師 花柳 要三郎氏(花柳流師範、日本舞踊家)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市かたらいの道
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先 TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人 東京雑学大学

平成30年5月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は5月10日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1131回	5月3日(木・祝) 14:00から	最近の補聴器事情	尾上 正嗣氏 (元シーメンス・ヒヤリング・インストゥルメンツ取締役)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1132回 ※	5月10日(木) 14:30から	ようこそ日本舞踊へ	花柳 要三郎氏 (花柳流師範、日本舞踊家)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1133回	5月17日(木) 14:00から	歴史にまつわる遺伝の話 (DNA、遺伝子をからめて)	和田 勝氏 (東京医科歯科大学名誉教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1134回	5月24日(木) 14:00から	ユーモアダイアリー…一笑懸命 ～認知症予防に役立つユーモア日記～	窪 宏太郎氏 (経営・労務コンサルタント)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1135回	5月31日(木) 14:00から	日本のライフスタイル～住居と都市の あり方について～(仮題)	棚橋 廣夫氏 (エーディネットワーク建築研究所代表取締役)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

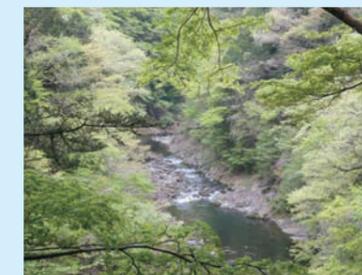
※第1132回は、第171回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

問合せ先 TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

イベント紹介

奥多摩セラピーウォーク

- 日時 平成30年4月29日(日・祝)
- 受付時間 9:00～11:00(荒天の場合中止あり)
- 受付場所 奥多摩駅前
- コース JR奥多摩駅～奥多摩むかしみち～奥多摩湖(10km 4時間)
- 内容 奥多摩むかしみちは、都内で初めて森林セラピー基地として認定された奥多摩町にある5つのセラピーロードのうちの1つで、今も随所に昔のままの姿が残されています。奥多摩駅をスタートに、昔をしのびながら、ゴールの奥多摩湖をめざす、新緑あふれる奥多摩の自然を満喫できるコースです。参加者にはコース途中で奥多摩名人・達人ガイドたちによる名所案内、ゴールとなる奥多摩湖では物産展とクラフトフェアも開催され、あわせて楽しんでいただけます。
- 参加費 500円(受付時に支払い、保険料含む)
- 主催 奥多摩セラピーウォーク実行委員会
- 問合せ先 奥多摩セラピーウォーク実行委員会事務局(奥多摩町役場観光産業課内)
TEL 0428-83-2295 FAX 0428-83-2344
ホームページアドレス <http://www.town.okutama.tokyo.jp>



「多摩交流センターだより」の問合せ先

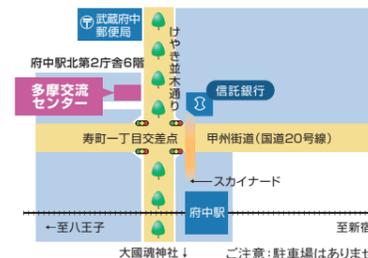
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 新年度を迎えました。皆様の職場や団体などでも新メンバーとともに、新たなスタートを切ったことと思います。当調査会でも職員の異動がありましたが、新体制のもと、フレッシュな気持ちで職員一丸となって各事業に取り組んでまいります。
- 4月は桜の季節です。当調査会が入居している東京自治会館の近くにある武蔵野公園や府中の森公園には、毎年多くの花見客が訪れます。
- 桜といえば、ソメイヨシノが代表的な品種ですが、そのルーツは江戸時代の末期に遡り、江戸の染井村(現在の東京都豊島区駒込)の植木屋さんが売り出したものとされています。ソメイヨシノは、エドヒガンザクラとオオシマザクラの交配によって生まれたものです。ソメイヨシノどうしては交配できないため、人の手を介した接ぎ木や挿し木などの方法でしか増やすことができません。接ぎ木や挿し木などで育てると遺伝子が同じ、いわば「クローン」になります。遺伝子が同じなので、環境が整えば一斉に花が咲くことになり、そのおかげで、満開の桜が一斉に咲き乱れる美しい景色を見ることができるのです。
- ところで、今月から「TAMA市民塾」の新しい講座が開講します。TAMA市民塾は、当調査会と運営スタッフ(市民塾

- 理事)との公民協働により、多摩地域に在住、在勤、在学する方を対象に平成7年10月から始めたもので、多摩交流センターにおいて開催しています。
- TAMA市民塾の特徴は、一般公募による講師と市民塾理事、塾生の協働により、市民が主体となって企画・運営が行われていることです。また、「講座はコミュニティ」を理念に、講師から塾生への講義を中心とする一方向の講座ではなく、参加型・対話型・実践型の講座が中心となっており、塾生との相互理解・交流を心がけている講師が多いことも特徴としてあげられます。
- 講座は年2回、4月と10月に開講され、その内容は歴史、外国語、書画、音楽、健康など多岐にわたっています。ソメイヨシノが1本の木から始まり、今では日本の桜の代表となったように、TAMA市民塾は、15講座、276人の受講者からスタートし、650を超える講座から延べ15,000人を超える修了生を出すなど、多摩地域における市民のネットワーク活動に欠かせない場となっています。
- 10月開講の講座の塾生募集は、本年6月に実施する予定です。応募者が定員を超えた場合は抽選となります。募集期間や講座内容等詳細は6月号でお知らせします。多くの方々の応募をお待ちしております。

(S.K)